

資料名：令和7年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現 行				改 定				適 用					
別表6 積雪寒冷地の地域区分				別表6 積雪寒冷地の地域区分				国家公務員の寒冷地手当に関する法律の改正に伴う改正					
地域 の 区 分	地 域	地域 の 区 分	地 域	地域 の 区 分	地 域	地域 の 区 分	地 域						
1 級地	北海道のうち 旭川市 帯広市 北見市 夕張市 赤平市 士別市 名寄市 歌志内市 深川市 富良野市 後志総合振興局管内のうち 虻田郡のうち留寿都村 喜茂別町 及び倶知安町 余市郡のうち赤井川村 空知総合振興局管内のうち 空知郡のうち上砂川町 雨竜郡 上川総合振興局管内 宗谷総合振興局管内のうち 枝幸郡のうち浜頓別町及び中頓別町 天塩郡のうち幌延町 オホーツク総合振興局管内のうち 網走郡 斜里郡のうち清里町及び 小清水町 常呂郡 紋別郡のうち 遠軽町 湧別町 滝上町 興部町及び 西興部村 胆振総合振興局管内のうち 勇払郡のうち厚真町及び安平町 日高振興局管内のうち 沙流郡のうち平取町 十勝総合振興局管内のうち 河東郡 上川郡のうち清水町 河西郡 広尾郡のうち大樹町 中川郡 足寄郡 十勝郡 釧路総合振興局管内のうち 川上郡 阿寒郡 根室振興局管内のうち 野付郡 標津郡のうち中標津町	2 級地	古平郡 余市郡のうち仁木町及び余市町 空知総合振興局管内のうち 空知郡のうち南幌町及び奈井江町 夕張郡 樺戸郡 留萌振興局管内 宗谷総合振興局管内のうち 宗谷郡 枝幸郡のうち枝幸町 天塩郡のうち豊富町 礼文郡 利尻郡 オホーツク総合振興局管内のうち 斜里郡のうち斜里町 紋別郡のうち雄武町 胆振総合振興局管内のうち 虻田郡 有珠郡 白老郡 勇払郡のうちむかわ町 日高振興局管内のうち 沙流郡のうち日高町 新冠郡 様似郡 十勝総合振興局管内のうち 上川郡のうち新得町 広尾郡のうち広尾町 釧路総合振興局管内のうち 釧路郡 厚岸郡 白糠郡 根室振興局管内のうち 標津郡のうち標津町 目梨郡	1 級地	北海道のうち 旭川市 帯広市 北見市 夕張市 赤平市 士別市 名寄市 歌志内市 深川市 富良野市 後志総合振興局管内のうち 虻田郡のうち京極町及び倶知安町 余市郡のうち赤井川村 空知総合振興局管内のうち 空知郡のうち上砂川町 雨竜郡の うち妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼 田町 上川総合振興局管内 宗谷総合振興局管内のうち 枝幸郡のうち浜頓別町及び中頓別町 天塩郡のうち幌延町 オホーツク総合振興局管内のうち 網走郡 斜里郡のうち清里町及び 小清水町 常呂郡 紋別郡のうち 遠軽町 湧別町 滝上町 興部町及び 西興部村 胆振総合振興局管内のうち 勇払郡のうち厚真町及び安平町 日高振興局管内のうち 沙流郡のうち平取町 十勝総合振興局管内のうち 河東郡 上川郡のうち清水町 河西郡 広尾郡のうち大樹町 中川郡 足寄郡 十勝郡 釧路総合振興局管内のうち 川上郡 阿寒郡 根室振興局管内のうち 野付郡 標津郡のうち中標津町	2 級地	岩内郡 古宇郡 積丹郡 古平郡 余市郡のうち仁木町及び余市町 空知総合振興局管内のうち 空知郡のうち南幌町及び奈井江町 夕張郡 樺戸郡 雨竜郡のうち雨竜 町 留萌振興局管内 宗谷総合振興局管内のうち 宗谷郡 枝幸郡のうち浜頓別町及び 枝幸町 天塩郡のうち豊富町 礼文郡 利尻郡 オホーツク総合振興局管内のうち 斜里郡のうち斜里町 紋別郡のうち興部町及び雄武町 胆振総合振興局管内のうち 虻田郡 有珠郡 白老郡 勇払郡のうちむかわ町 日高振興局管内のうち 沙流郡のうち日高町 新冠郡 様似郡 十勝総合振興局管内のうち 上川郡のうち新得町 広尾郡のうち広尾町 十勝郡 釧路総合振興局管内のうち 釧路郡 厚岸郡 白糠郡 根室振興局管内のうち 標津郡のうち標津町 目梨郡		3 級地	北海道のうち 函館市 室蘭市 苫小牧市 登別市 北斗市 渡島総合振興局管内のうち 松前郡のうち松前町 上磯郡 檜山振興局管内のうち 檜山郡 甯志郡 奥尻郡 日高振興局管内のうち 浦河郡 幌泉郡 日高郡	2 級地	北海道のうち 札幌市 小樽市 釧路市 岩見沢市 網走市 留萌市 稚内市 美唄市 芦別市 江別市 紋別市 三笠市 根室市 千歳市 滝川市 砂川市 恵庭市 伊達市 北広島市 石狩市 石狩振興局管内 渡島総合振興局管内のうち 松前郡のうち福島町 二世郡 山越郡 檜山振興局管内のうち 瀬棚郡 久遠郡 後志総合振興局管内のうち 島牧郡 寿都郡 磯谷郡 虻田郡のうちニセコ町 真狩村 留 寿都村及び喜茂別町	備考 この表に掲げる名称は、【別表6 参考資料】に よる市町村合併後の名称にて記載している。

資料名：令和７年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現 行		改 定		適 用
項 目	率に別途加算できる項目	項 目	率に別途加算できる項目	土地改良工事積算基準（土木工事）及び土木工事工事費積算要領及び基準の運用の改正に伴う改正
技術 管理費	1 特別な品質管理等に要する費用 (1) 溶接試験における放射線透過試験(現場)に要する費用 (2) 管路における水圧試験及び漏水試験に要する費用 (3) 土質試験(土木工事施工管理基準の品質管理に記載されている試験項目以外の試験)に要する費用 (4) コンクリート補修工事における品質管理試験(土木工事施工管理基準の品質管理に記載されている試験項目以外の試験)に要する費用 2 現場条件等により積上げを要する費用 (1) 軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定取りまとめに要する費用 (2) 試験盛土等の工事に要する費用 (3) 施工前に既設構造物の配筋状況の確認に用いる特別な機器(鉄筋探査器等)に要する費用 (4) コンクリート補修工事における事前試験に要する費用 3 歩掛調査及び諸雑費動向調査に要する費用 4 I C T建設機械に要する以下の費用 (1) 保守点検 施工箇所が点在する工事においては、施工箇所ごとの施工数量によるものとするため、箇所ごとに必要額を計上するものとする。 (2) システム初期費 1 工事当たり使用機種ごとに1式計上とする。施工箇所が点在する工事の場合は、箇所ごとに計上するのではなく、1工事当たり使用機種ごとに1式計上とする。 (3) 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 5 その他特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用	技術 管理費	1 特別な品質管理等に要する費用 (1) 溶接試験における放射線透過試験(現場)に要する費用 (2) 管路における水圧試験及び漏水試験に要する費用 (3) 土質試験(土木工事施工管理基準の品質管理に記載されている試験項目以外の試験)に要する費用 (4) コンクリート補修工事における品質管理試験(土木工事施工管理基準の品質管理に記載されている試験項目以外の試験)に要する費用 2 現場条件等により積上げを要する費用 (1) 軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定取りまとめに要する費用 (2) 試験盛土等の工事に要する費用 (3) 施工前に既設構造物の配筋状況の確認に用いる特別な機器(鉄筋探査器等)に要する費用 (4) コンクリート補修工事における事前試験に要する費用 3 歩掛調査及び諸雑費動向調査に要する費用 4 I C T建設機械に要する以下の費用 (1) 保守点検 施工箇所が点在する工事においては、施工箇所ごとの施工数量によるものとするため、箇所ごとに必要額を計上するものとする。 (1) システム初期費 1 工事当たり使用機種ごとに1式計上を原則とする。施工箇所が点在する工事の場合は、箇所ごとに計上するのではなく、1工事当たり使用機種ごとに1式計上とする。 (2) 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 5 その他特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用	
営 繕 費	1 火薬庫等及び特に必要とされる監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・補修、土地の借上げ)に要する費用(フィルダム及びコンクリートダム工事を除く) 2 海上輸送等での労働者の輸送に要する費用 3 その他、工事施工上必要な営繕等に要する費用	営 繕 費	1 火薬庫等及び特に必要とされる監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・補修、土地の借上げ)に要する費用(フィルダム及びコンクリートダム工事を除く) 2 海上輸送等での労働者の輸送に要する費用 3 その他、工事施工上必要な営繕等に要する費用	

資料名：令和7年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現 行					改 定					適 用	
表3. 2 建設機械運搬方法					表3. 2 建設機械運搬方法					土地改良工事積算基準（土木工事）の改正に伴う改正	
機 械 名	規 格	車 載		備 考	機 械 名	規 格	車 載		備 考		
		車種	機械質量(t)				車種	機械質量(t)			
路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置付)	2.0m	トレーラ	28.50		路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置付)	2.0m	トレーラ	28.50 (27.00)	()内は排出 ガス対策型(2014 年規制)の場合の 機械質量		
ス ラ ビ ラ イ ザ (路床改良用)	深0.6m、幅2.0m	トレーラ	23.00		ス ラ ビ ラ イ ザ (路床改良用)	深0.6m、幅2.0m	トレーラ	23.00			
ス ラ ビ ラ イ ザ (路床改良用)	深1.2m、幅2.0m	トレーラ	24.70		ス ラ ビ ラ イ ザ (路床改良用)	深1.2m、幅2.0m	トレーラ	24.70			
自 走 式 破 砕 機	クラッシャー寸法 開 450mm 幅 925mm	トレーラ	30.00		自 走 式 破 砕 機	クラッシャー寸法 開 450mm 幅 925mm	トレーラ	30.00			
油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	トレーラ	29.70		油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	トレーラ	29.70			
バ ッ ク ホ ウ (超ロングアーム型)	山積0.4m³／平積0.3m³	トレーラ	22.00		バ ッ ク ホ ウ (超ロングアーム型)	山積0.4m³／平積0.3m³	トレーラ	22.00			
(注) 1. 貨物自動車による運搬を計上する。 2. 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。					(注) 1. 貨物自動車による運搬を計上する。 2. 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。						

資料名：令和7年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現 行	改 定	適 用
法面工・既存施設の撤去工を主たる工種で発注する場合の工種区分の適用は。 その他土木工事(2)を適用する。 ただし、既存施設の撤去内容のうち、河川復旧が主となる場合は、工種「河川工事」を適用する。	法面工・既存施設の撤去工を主たる工種で発注する場合の工種区分の適用は。 法面工はその他土木工事(2)を適用する。 既存施設の撤去工は、入札参加者へ施工条件等を提示のうえ共通仮設費率、現場管理費率について見積を徴収し積算するものとする。ただし、既存施設の撤去内容のうち、河川復旧が主となる場合は、工種「河川工事」を適用する。	現場条件を適切に積算へ反映させるため適用条件を改正

資料名：令和7年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

<

資料名：令和 7 年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現 行	改 定	適 用
管体工における短管及び異形管の布設歩掛について示されたい。 短管及び異形管は本管(直管)と連続的に布設されることから、本管管種の布設歩掛を適用するものとし、積算は下記を標準とする。ただし、硬質塩化ビニル管及びポリエチレン管には該当しない。 また、現場条件等により、これにより難い場合は別途考慮する。 (1) 短管 短管長に関わらず、適用歩掛（本管布設歩掛）と同じとする。 (2) 曲管及び異形管 ① 本管と材質が同じ場合 本管(隣接管)の1本当り最小長既製直管歩掛を適用する。 ② 本管と材質が異なる場合 ダクタイトイル鋳鉄管の1本当り最小長既製直管最低管種歩掛を適用する。 ③ 押輪・継輪の取付費は、隣接管の布設費に含まれるものとし、計上しないものとする。 ④ 人孔用蓋(空気弁用含む・φ600mm程度)は空気弁据付(φ200mm)を準用するものとする。	管体工における短管及び異形管の布設歩掛について示されたい。 短管及び異形管は本管(直管)と連続的に布設されることから、本管管種の布設歩掛を適用するものとし、積算は下記を標準とする。ただし、硬質塩化ビニル管及びポリエチレン管には該当しない。 また、現場条件等により、これにより難い場合は別途考慮する。 (1) 短管 短管長に関わらず、本管（主たる定尺管長）の布設歩掛を適用する。 (2) 曲管及び異形管 ① 本管と材質が同じ場合 本管(隣接管)の1本当り最小長既製直管歩掛を適用する。 ② 本管と材質が異なる場合 ダクタイトイル鋳鉄管の1本当り最小長既製直管最低管種歩掛を適用する。 ③ 押輪・継輪の取付費は、隣接管の布設費に含まれるものとし、計上しないものとする。 ④ 人孔用蓋(空気弁用含む・φ600mm程度)は空気弁据付(φ200mm)を準用するものとする。	記載内容が不明瞭であったため、適用歩掛を明確にするため改正

資料名：令和7年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現	行	改	定	適	用																
ダクタイル鑄鉄異形管単価（Ⅰ～Ⅲ類）の適用異形管について示されたい。 ダクタイル鑄鉄異形管単価（Ⅰ～Ⅲ類）の適用異形管は下表による。 なお、下表の出典根拠は「積算資料」及び「建設物価」（ダクタイル鑄鉄管異形管参照）である。 <table><tr><th>分類</th><th>品名</th></tr><tr><td>Ⅰ類</td><td>二受T字管・曲管(45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)・継輪・短管(1・2号)</td></tr><tr><td>Ⅱ類</td><td>三受十字管・片落管・曲管(90°)・排水T字管・フランジ付T字管・人孔蓋・フランジ蓋・フランジ短管・ラップ口</td></tr><tr><td>Ⅲ類</td><td>三フランジT字管・二フランジT字管・フランジ片落管・フランジ曲管(45°、90°)・仕切弁副管(A1・2号、B1号)・フランジ短管(乱尺)</td></tr></table>		分類	品名	Ⅰ類	二受T字管・曲管(45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)・継輪・短管(1・2号)	Ⅱ類	三受十字管・片落管・曲管(90°)・排水T字管・フランジ付T字管・人孔蓋・フランジ蓋・フランジ短管・ラップ口	Ⅲ類	三フランジT字管・二フランジT字管・フランジ片落管・フランジ曲管(45°、90°)・仕切弁副管(A1・2号、B1号)・フランジ短管(乱尺)	ダクタイル鑄鉄異形管単価（Ⅰ～Ⅲ類）の適用異形管について示されたい。 ダクタイル鑄鉄異形管単価（K形・フランジ形 Ⅰ～Ⅲ類）の適用異形管は下表による。 なお、下表の出典根拠は「積算資料」及び「建設物価」（ダクタイル鑄鉄管異形管参照）である。 <table><tr><th>分類</th><th>品名</th></tr><tr><td>Ⅰ類</td><td>二受T字管・曲管(45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)・継輪・短管(1・2号)</td></tr><tr><td>Ⅱ類</td><td>三受十字管・片落管・曲管(90°)・排水T字管・フランジ付T字管・人孔蓋・フランジ蓋・フランジ短管・ラップ口</td></tr><tr><td>Ⅲ類</td><td>三フランジT字管・二フランジT字管・フランジ片落管・フランジ曲管(45°、90°)・仕切弁副管(A1・2号、B1号)・フランジ短管(乱尺)</td></tr></table> 注 曲管について、両受曲管及び任意曲管（フリーベンド管）は適用できない。		分類	品名	Ⅰ類	二受T字管・曲管(45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)・継輪・短管(1・2号)	Ⅱ類	三受十字管・片落管・曲管(90°)・排水T字管・フランジ付T字管・人孔蓋・フランジ蓋・フランジ短管・ラップ口	Ⅲ類	三フランジT字管・二フランジT字管・フランジ片落管・フランジ曲管(45°、90°)・仕切弁副管(A1・2号、B1号)・フランジ短管(乱尺)	記載内容に不足があったため追記	
分類	品名																				
Ⅰ類	二受T字管・曲管(45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)・継輪・短管(1・2号)																				
Ⅱ類	三受十字管・片落管・曲管(90°)・排水T字管・フランジ付T字管・人孔蓋・フランジ蓋・フランジ短管・ラップ口																				
Ⅲ類	三フランジT字管・二フランジT字管・フランジ片落管・フランジ曲管(45°、90°)・仕切弁副管(A1・2号、B1号)・フランジ短管(乱尺)																				
分類	品名																				
Ⅰ類	二受T字管・曲管(45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)・継輪・短管(1・2号)																				
Ⅱ類	三受十字管・片落管・曲管(90°)・排水T字管・フランジ付T字管・人孔蓋・フランジ蓋・フランジ短管・ラップ口																				
Ⅲ類	三フランジT字管・二フランジT字管・フランジ片落管・フランジ曲管(45°、90°)・仕切弁副管(A1・2号、B1号)・フランジ短管(乱尺)																				

資料名：令和7年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現行	改定	適用																																																																																
スクレープドーザ及び被けん引式スクレーパの輸送起算点を示されたい。 輸送起算点については下表を参考とし、保有状況に応じ運搬費を算出する。 ・スクレープドーザ保有状況（H30. 1. 18時点） <table><tr><th>市町村名</th><th>台数</th><th>会社名</th><th>住 所</th><th>電話番号</th></tr><tr><td>恵庭市</td><td>5</td><td>日重建設(株)</td><td>恵庭市駒場町6丁目1番3号</td><td>0123-32-2305</td></tr><tr><td>本別町</td><td>1</td><td>小川建設工業(株)</td><td>中川郡本別町上本別10番地3</td><td>0156-22-2661</td></tr><tr><td>帯広市</td><td>2</td><td>(株)総建</td><td>帯広市西23条南5丁目11</td><td>0155-36-8028</td></tr><tr><td>北広島市</td><td>7</td><td>山崎建設(株)</td><td>北広島市大曲工業団地3-7-1</td><td>011-377-4144</td></tr><tr><td>北広島市</td><td>2</td><td>小川産業(株)</td><td>北広島市大曲</td><td>011-881-1682</td></tr><tr><td>留寿都村</td><td>3</td><td>北正重機工業(株)</td><td>虻田郡留寿都村字留寿都111-22</td><td>0136-46-3771</td></tr><tr><td>倶知安町</td><td>2</td><td>(株)竹山建設</td><td>虻田郡倶知安町北1条東1丁目</td><td>0136-22-1244</td></tr></table> ・被けん引式スクレーパ保有状況（H30. 1. 18時点） <table><tr><th>市町村名</th><th>台数</th><th>会社名</th><th>住 所</th><th>電話番号</th></tr><tr><td>士別市</td><td>2</td><td>(有)萩尾工業</td><td>士別市西士別町1901-57</td><td>0123-32-2305</td></tr><tr><td>士別市</td><td>8</td><td>しずお建設運輸(株)</td><td>士別市東2条北3丁目17</td><td>0156-22-2661</td></tr><tr><td>帯広市</td><td>1</td><td>(有)道栄重機</td><td>帯広市南の森西4丁目4-11</td><td>0155-36-8028</td></tr><tr><td>音更町</td><td>1</td><td>音更運輸工業(株)</td><td>河東郡音更町木野大通西5丁目2-3</td><td>011-377-4144</td></tr><tr><td>旭川市</td><td>4</td><td>塚本重機(株)</td><td>旭川市末広1条4丁目4-36</td><td>011-881-1682</td></tr><tr><td>斜里町</td><td>2</td><td>(株)中田建機</td><td>斜里郡斜里町字豊倉67番地</td><td>0136-46-3771</td></tr><tr><td>恵庭市</td><td>2</td><td>日重建設(株)</td><td>恵庭市駒場町6丁目1番3号</td><td>0136-22-1244</td></tr></table>	市町村名	台数	会社名	住 所	電話番号	恵庭市	5	日重建設(株)	恵庭市駒場町6丁目1番3号	0123-32-2305	本別町	1	小川建設工業(株)	中川郡本別町上本別10番地3	0156-22-2661	帯広市	2	(株)総建	帯広市西23条南5丁目11	0155-36-8028	北広島市	7	山崎建設(株)	北広島市大曲工業団地3-7-1	011-377-4144	北広島市	2	小川産業(株)	北広島市大曲	011-881-1682	留寿都村	3	北正重機工業(株)	虻田郡留寿都村字留寿都111-22	0136-46-3771	倶知安町	2	(株)竹山建設	虻田郡倶知安町北1条東1丁目	0136-22-1244	市町村名	台数	会社名	住 所	電話番号	士別市	2	(有)萩尾工業	士別市西士別町1901-57	0123-32-2305	士別市	8	しずお建設運輸(株)	士別市東2条北3丁目17	0156-22-2661	帯広市	1	(有)道栄重機	帯広市南の森西4丁目4-11	0155-36-8028	音更町	1	音更運輸工業(株)	河東郡音更町木野大通西5丁目2-3	011-377-4144	旭川市	4	塚本重機(株)	旭川市末広1条4丁目4-36	011-881-1682	斜里町	2	(株)中田建機	斜里郡斜里町字豊倉67番地	0136-46-3771	恵庭市	2	日重建設(株)	恵庭市駒場町6丁目1番3号	0136-22-1244	削除	現在の適用実態を踏まえて削除
市町村名	台数	会社名	住 所	電話番号																																																																														
恵庭市	5	日重建設(株)	恵庭市駒場町6丁目1番3号	0123-32-2305																																																																														
本別町	1	小川建設工業(株)	中川郡本別町上本別10番地3	0156-22-2661																																																																														
帯広市	2	(株)総建	帯広市西23条南5丁目11	0155-36-8028																																																																														
北広島市	7	山崎建設(株)	北広島市大曲工業団地3-7-1	011-377-4144																																																																														
北広島市	2	小川産業(株)	北広島市大曲	011-881-1682																																																																														
留寿都村	3	北正重機工業(株)	虻田郡留寿都村字留寿都111-22	0136-46-3771																																																																														
倶知安町	2	(株)竹山建設	虻田郡倶知安町北1条東1丁目	0136-22-1244																																																																														
市町村名	台数	会社名	住 所	電話番号																																																																														
士別市	2	(有)萩尾工業	士別市西士別町1901-57	0123-32-2305																																																																														
士別市	8	しずお建設運輸(株)	士別市東2条北3丁目17	0156-22-2661																																																																														
帯広市	1	(有)道栄重機	帯広市南の森西4丁目4-11	0155-36-8028																																																																														
音更町	1	音更運輸工業(株)	河東郡音更町木野大通西5丁目2-3	011-377-4144																																																																														
旭川市	4	塚本重機(株)	旭川市末広1条4丁目4-36	011-881-1682																																																																														
斜里町	2	(株)中田建機	斜里郡斜里町字豊倉67番地	0136-46-3771																																																																														
恵庭市	2	日重建設(株)	恵庭市駒場町6丁目1番3号	0136-22-1244																																																																														

資料名：令和 7 年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現 行	改 定	適 用															
大型土のうの規格について示されたい。 大型土のうの規格は下記の種類が一般的であるが、容量は歩掛どおりとする。 円形土のう：H=1.08m、φ=1.10m 角形土のう：H=1.20m、B・W=0.86m	大型土のうの規格、選定について示されたい。 大型土のうの規格は下記の種類が一般的であるが、仮締切り工や仮排水路工等において大型土のうの配置計画を行う場合、設計上の寸法は1.0mの立方体形状として計画するものとする。また、土地改良工事積算基準（土木工事）の大型土のう工（WB252730）により積算する場合、詰土量は1m³（ほぐした土量）とする。なお、中詰土に土砂を使用する場合は充填重量が10kNを超えるため耐候性大型土のうを適用すること。 <table><tr><td></td><td>耐候性大型土のう</td><td>1 t 土のう</td></tr><tr><td>袋材製品寸法</td><td>丸型 φ110×高110(cm)</td><td>丸型 φ110×高110(cm) 角形 86cm角×高120cm</td></tr><tr><td>最大充填容量</td><td>1m³</td><td>1m³</td></tr><tr><td>最大充填重量</td><td>20kN</td><td>10kN</td></tr><tr><td>耐候性</td><td>短期仮設1年対応または 長期仮設3年対応</td><td>2ヶ月程度</td></tr></table>		耐候性大型土のう	1 t 土のう	袋材製品寸法	丸型 φ110×高110(cm)	丸型 φ110×高110(cm) 角形 86cm角×高120cm	最大充填容量	1m ³	1m ³	最大充填重量	20kN	10kN	耐候性	短期仮設1年対応または 長期仮設3年対応	2ヶ月程度	大型土のうの適用条件について追記
	耐候性大型土のう	1 t 土のう															
袋材製品寸法	丸型 φ110×高110(cm)	丸型 φ110×高110(cm) 角形 86cm角×高120cm															
最大充填容量	1m ³	1m ³															
最大充填重量	20kN	10kN															
耐候性	短期仮設1年対応または 長期仮設3年対応	2ヶ月程度															

資料名：令和7年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現 行		改 定		適 用		
3 たて込み簡易土留め工（参考）		3 たて込み簡易土留め工（参考）		土地改良工事積算基準（土木工事）の改正に伴う改正		
（1）適用範囲 本歩掛は、たて込み簡易土留めのたて込み、引き抜きに適用する。		（1）適用範囲 本歩掛は、たて込み簡易土留めのたて込み、引き抜きに適用する。				
（2）施工歩掛 たて込み、引き抜きに係るクレーン付バックホウ歩掛は次表を標準とする。		（2）施工歩掛 たて込み、引き抜きに係るクレーン付バックホウ歩掛は次表を標準とする。				
表（2）－1 たて込み歩掛（1 m当たり）		表（2）－1 たて込み歩掛（1 m当たり）				
機 種 バックホウ （クレーン機能付）	単位 時間	歩掛算出方法 たて込み時間＝掘削深（m）×土留材たて込み時間（分/m2）/60				
※ 土留材たて込み時間＝4.0分/m2						
表（2）－2 引き抜き歩掛（1 m当たり）		表（2）－2 引き抜き歩掛（1 m当たり）				
機 種 バックホウ （クレーン機能付）	単位 時間	歩掛算出方法 引き抜き時間＝掘削深（m）×土留材引き抜き時間（分/m2）/60				
※ 土留材引き抜き時間＝5.2分/m2						
表（2）－3 掘削深別、たて込み・引き抜き時間（hr/m）		表（2）－3 掘削深別、たて込み・引き抜き時間（hr/m）				
掘削 深さ （m）	掘 削 幅					
	0.90m以上1.10m未満		1.10m以上1.35m未満		1.35m以上4.70m以下	
	排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m3（平積0.20m3）1.7t		排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m3（平積0.35m3）2.9t		排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.80m3（平積0.60m3）2.9t	
	たて込み時間	引き抜き時間	たて込み時間	引き抜き時間	たて込み時間	引き抜き時間
1.50m	0.100	0.130	0.100	0.130	0.100	0.130
1.60m	0.107	0.139	0.107	0.139	0.107	0.139
1.70m	0.113	0.147	0.113	0.147	0.113	0.147
1.80m	0.120	0.156	0.120	0.156	0.120	0.156
1.90m	0.127	0.165	0.127	0.165	0.127	0.165
2.00m	0.133	0.173	0.133	0.173	0.133	0.173
2.10m	0.140	0.182	0.140	0.182	0.140	0.182
2.20m	0.147	0.191	0.147	0.191	0.147	0.191
2.30m	0.153	0.199	0.153	0.199	0.153	0.199
2.40m	0.160	0.208	0.160	0.208	0.160	0.208
2.50m	0.167	0.217	0.167	0.217	0.167	0.217
2.60m	0.173	0.225	0.173	0.225	0.173	0.225
2.70m	0.180	0.234	0.180	0.234	0.180	0.234
2.80m	0.187	0.243	0.187	0.243	0.187	0.243
2.90m	0.193	0.251	0.193	0.251	0.193	0.251
3.00m	0.200	0.260	0.200	0.260	0.200	0.260
3.10m	—	—	0.207	0.269	0.207	0.269
3.20m	—	—	0.213	0.277	0.213	0.277
3.30m	—	—	0.220	0.286	0.220	0.286
3.40m	—	—	0.227	0.295	0.227	0.295
3.50m	—	—	0.233	0.303	0.233	0.303
3.60m	—	—	0.240	0.312	0.240	0.312
3.70m	—	—	0.247	0.321	0.247	0.321
3.80m	—	—	0.253	0.329	0.253	0.329
3.90m	—	—	0.260	0.338	0.260	0.338
4.00m	—	—	0.267	0.347	0.267	0.347
4.10m	—	—	—	—	0.273	0.355
4.20m	—	—	—	—	0.280	0.364
4.30m	—	—	—	—	0.287	0.373
4.40m	—	—	—	—	0.293	0.381
4.50m	—	—	—	—	0.300	0.390
4.60m	—	—	—	—	0.307	0.399
4.70m	—	—	—	—	0.313	0.407
4.80m	—	—	—	—	0.320	0.416
4.90m	—	—	—	—	0.327	0.425
5.00m	—	—	—	—	0.333	0.433
5.10m	—	—	—	—	0.340	0.442
5.20m	—	—	—	—	0.347	0.451
5.30m	—	—	—	—	0.353	0.459
5.40m	—	—	—	—	0.360	0.468
5.50m	—	—	—	—	0.367	0.477
5.60m	—	—	—	—	0.373	0.485
5.70m	—	—	—	—	0.380	0.494
5.80m	—	—	—	—	0.387	0.503
5.90m	—	—	—	—	0.393	0.511
6.00m	—	—	—	—	0.400	0.520

資料名：令和7年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現	行	改	定	適	用																																																																																																																																																																														
(5) 単価表 表(5) . 1 単-1 管路基礎工 100m3 当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>世話役</td><td></td><td>人</td><td>N</td><td>表(4) .1</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>#</td><td>N</td><td>表(4) .1</td></tr><tr><td>バックホウ運転</td><td>排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)</td><td>h</td><td>N</td><td>表(4) .1</td></tr><tr><td>振動ローラ運転</td><td>ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 0.5～0.6 t</td><td>日</td><td>N</td><td>表(4) .1 振動ローラ使用の場合</td></tr><tr><td>タンバ運転</td><td>60～80kg</td><td>#</td><td>N</td><td>表(4) .1 タンバ使用の場合</td></tr><tr><td>諸雑費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表 3.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 備考 N：歩掛 (6) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>損 料</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>単位</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>バックホウ</td><td>損料</td><td>排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)</td><td>機-1</td><td>h</td><td></td></tr><tr><td>振動ローラ</td><td>賃料</td><td>ハンドガイド式 0.5～0.6 t</td><td>機-3 1</td><td>日</td><td>運転労務数量 1. 0 0 燃料消費量 2. 2 機械賃料数量 1. 7 1</td></tr><tr><td>タンバ</td><td>損料</td><td>60～80kg</td><td>機-8</td><td>#</td><td>燃料消費量 4. 4</td></tr></table> (注) 機械選定表 (縮固め作業) <table><tr><th>機 種</th><th>規 格</th><th>適 用</th></tr><tr><td>振動ローラ</td><td>ハンドガイド式 0.5～0.6 t</td><td>W≧1. 0m</td></tr><tr><td>タンバ</td><td>60 kg～80 kg</td><td>W<1. 0m</td></tr></table> 管路工埋戻し区分 <table><tr><th>盛戻し区分</th><th>機 種</th></tr><tr><td>普通盛戻し (表土若い)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr></table>		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世話役		人	N	表(4) .1	普通作業員		#	N	表(4) .1	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	N	表(4) .1	振動ローラ運転	ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 0.5～0.6 t	日	N	表(4) .1 振動ローラ使用の場合	タンバ運転	60～80kg	#	N	表(4) .1 タンバ使用の場合	諸雑費		式	1	表 3.1	計					機 械 名	損 料	規 格	適用単価表	単位	指 定 事 項	バックホウ	損料	排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-1	h		振動ローラ	賃料	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	機-3 1	日	運転労務数量 1. 0 0 燃料消費量 2. 2 機械賃料数量 1. 7 1	タンバ	損料	60～80kg	機-8	#	燃料消費量 4. 4	機 種	規 格	適 用	振動ローラ	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	W≧1. 0m	タンバ	60 kg～80 kg	W<1. 0m	盛戻し区分	機 種	普通盛戻し (表土若い)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	(5) 単価表 表(5) . 1 単-1 管路基礎工 100m3 当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>世話役</td><td></td><td>人</td><td>N</td><td>表(4) .1</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>#</td><td>N</td><td>表(4) .1</td></tr><tr><td>バックホウ運転</td><td>排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)</td><td>h</td><td>N</td><td>表(4) .1</td></tr><tr><td>振動ローラ運転</td><td>ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 0.5～0.6 t</td><td>日</td><td>N</td><td>表(4) .1 振動ローラ使用の場合</td></tr><tr><td>タンバ運転</td><td>60～80kg</td><td>#</td><td>N</td><td>表(4) .1 タンバ使用の場合</td></tr><tr><td>諸雑費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表 3.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 備考 N：歩掛 (6) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>損 料</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>単位</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>バックホウ</td><td>損料</td><td>排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)</td><td>機-1</td><td>h</td><td></td></tr><tr><td>振動ローラ</td><td>賃料</td><td>ハンドガイド式 0.5～0.6 t</td><td>機-3 1</td><td>日</td><td>運転労務数量 1. 0 0 燃料消費量 2. 2 機械賃料数量 1. 7 1</td></tr><tr><td>タンバ</td><td>損料</td><td>60～80kg</td><td>機-8</td><td>#</td><td>燃料消費量 4. 4</td></tr></table> (注) 機械選定表 (縮固め作業) <table><tr><th>機 種</th><th>規 格</th><th>適 用</th></tr><tr><td>振動ローラ</td><td>ハンドガイド式 0.5～0.6 t</td><td>W≧1. 0m</td></tr><tr><td>タンバ</td><td>60 kg～80 kg</td><td>W<1. 0m</td></tr></table> 管路工埋戻し区分 <table><tr><th>盛戻し区分</th><th>機 種</th></tr><tr><td>普通盛戻し (表土若い)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr><tr><td>普通盛戻し (普通盛戻し)</td><td>①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)</td></tr></table>		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世話役		人	N	表(4) .1	普通作業員		#	N	表(4) .1	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	N	表(4) .1	振動ローラ運転	ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 0.5～0.6 t	日	N	表(4) .1 振動ローラ使用の場合	タンバ運転	60～80kg	#	N	表(4) .1 タンバ使用の場合	諸雑費		式	1	表 3.1	計					機 械 名	損 料	規 格	適用単価表	単位	指 定 事 項	バックホウ	損料	排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-1	h		振動ローラ	賃料	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	機-3 1	日	運転労務数量 1. 0 0 燃料消費量 2. 2 機械賃料数量 1. 7 1	タンバ	損料	60～80kg	機-8	#	燃料消費量 4. 4	機 種	規 格	適 用	振動ローラ	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	W≧1. 0m	タンバ	60 kg～80 kg	W<1. 0m	盛戻し区分	機 種	普通盛戻し (表土若い)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)	備考 Wは最小幅員であり、実際の範囲ごとに数量を区分し適用することを標準とする。	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																															
世話役		人	N	表(4) .1																																																																																																																																																																															
普通作業員		#	N	表(4) .1																																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	N	表(4) .1																																																																																																																																																																															
振動ローラ運転	ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 0.5～0.6 t	日	N	表(4) .1 振動ローラ使用の場合																																																																																																																																																																															
タンバ運転	60～80kg	#	N	表(4) .1 タンバ使用の場合																																																																																																																																																																															
諸雑費		式	1	表 3.1																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																			
機 械 名	損 料	規 格	適用単価表	単位	指 定 事 項																																																																																																																																																																														
バックホウ	損料	排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-1	h																																																																																																																																																																															
振動ローラ	賃料	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	機-3 1	日	運転労務数量 1. 0 0 燃料消費量 2. 2 機械賃料数量 1. 7 1																																																																																																																																																																														
タンバ	損料	60～80kg	機-8	#	燃料消費量 4. 4																																																																																																																																																																														
機 種	規 格	適 用																																																																																																																																																																																	
振動ローラ	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	W≧1. 0m																																																																																																																																																																																	
タンバ	60 kg～80 kg	W<1. 0m																																																																																																																																																																																	
盛戻し区分	機 種																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (表土若い)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																															
世話役		人	N	表(4) .1																																																																																																																																																																															
普通作業員		#	N	表(4) .1																																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	N	表(4) .1																																																																																																																																																																															
振動ローラ運転	ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 0.5～0.6 t	日	N	表(4) .1 振動ローラ使用の場合																																																																																																																																																																															
タンバ運転	60～80kg	#	N	表(4) .1 タンバ使用の場合																																																																																																																																																																															
諸雑費		式	1	表 3.1																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																			
機 械 名	損 料	規 格	適用単価表	単位	指 定 事 項																																																																																																																																																																														
バックホウ	損料	排出ガス対策型(第1次基準値) ｸﾛｰﾗ型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-1	h																																																																																																																																																																															
振動ローラ	賃料	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	機-3 1	日	運転労務数量 1. 0 0 燃料消費量 2. 2 機械賃料数量 1. 7 1																																																																																																																																																																														
タンバ	損料	60～80kg	機-8	#	燃料消費量 4. 4																																																																																																																																																																														
機 種	規 格	適 用																																																																																																																																																																																	
振動ローラ	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	W≧1. 0m																																																																																																																																																																																	
タンバ	60 kg～80 kg	W<1. 0m																																																																																																																																																																																	
盛戻し区分	機 種																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (表土若い)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		
普通盛戻し (普通盛戻し)	①W1.0m(ｽﾛｯﾌﾟ+振動ローラ) ②1.0mS 0.5t(振動ローラ) ③0.5mS 0.5t(振動ローラ)																																																																																																																																																																																		

記載内容に不足があったため追記

資料名：令和 7 年度 土木請負工事 工事費積算要領の農業土木工事における細部運用

担当課：農業設計課

現		行		改		定		適		用	
記載内容に不足があったため追記											

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
世話役		人	N	表 (3) .2
普通作業員		#	N	表 (3) .2
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クロー型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	N	表 (3) .2
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	日	N	表 (3) .2 振動ローラ使用の場合
ブルドーザ運転	排出ガス対策型普通 3 t 級	#	N	表 (3) .2 プルトーザ使用の場合
諸雑費		式	1	表 (3) .2
計				

備考 N：歩掛

(5) 機械運転単価表

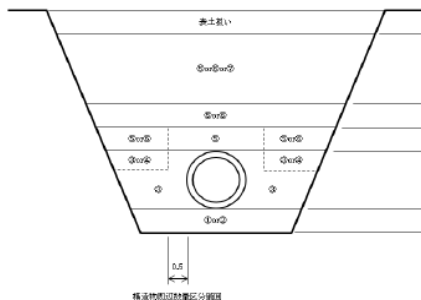
(5) . 1 管水路埋戻し (W<1.0m) 機械運転単価表

名 称	規 格	適用単価表	単位	指 定 事 項
バックホウ (クロー型)	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) ・山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	機－2 8	日	運転労務数量 1.00 燃料消費量 41 機械賃料数量 1.12
クハバ (ツマ)	60～80kg	機－3 1	#	運転労務数量 1.00 燃料消費量 1.8 機械賃料数量 1.08
振動ローラ	ハンドガイド式 0.5～0.6t	#	#	運転労務数量 1.00 燃料消費量 2.2 機械賃料数量 1.13

(5) . 2 管水路埋戻し (1.0m≦W2.5m、2.5m≦W) 機械運転単価表

機 械 名	損料	規 格	適用単価表	単位	指 定 事 項
バックホウ	損料	排出ガス対策型(第2次基準値) クロー型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－1	h	
振動ローラ	賃料	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	機－3 1	日	運転労務数量 1.00 燃料消費量 2.2 機械賃料数量 1.71
ブルドーザ	賃料	排出ガス対策型普通 3 t 級	機－2 8	#	運転労務数量 1.00 燃料消費量 24 機械賃料数量 1.63

管水路工埋戻し区分



埋戻し層	仕様
管水底埋戻し (管底面0.05m以上)	①W1.0m(50cm以上) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
世話役		人	N	表 (3) .2
普通作業員		#	N	表 (3) .2
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クロー型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	N	表 (3) .2
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	日	N	表 (3) .2 振動ローラ使用の場合
ブルドーザ運転	排出ガス対策型普通 3 t 級	#	N	表 (3) .2 プルトーザ使用の場合
諸雑費		式	1	表 (3) .2
計				

備考 N：歩掛

(5) 機械運転単価表

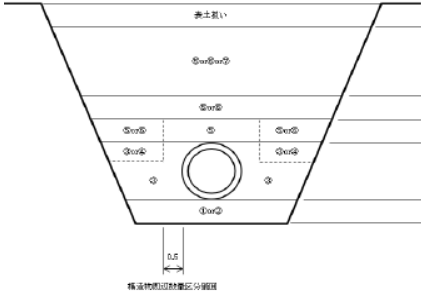
(5) . 1 管水路埋戻し (W<1.0m) 機械運転単価表

名 称	規 格	適用単価表	単位	指 定 事 項
バックホウ (クロー型)	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) ・山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	機－2 8	日	運転労務数量 1.00 燃料消費量 41 機械賃料数量 1.12
クハバ (ツマ)	60～80kg	機－3 1	#	運転労務数量 1.00 燃料消費量 1.8 機械賃料数量 1.08
振動ローラ	ハンドガイド式 0.5～0.6t	#	#	運転労務数量 1.00 燃料消費量 2.2 機械賃料数量 1.13

(5) . 2 管水路埋戻し (1.0m≦W2.5m、2.5m≦W) 機械運転単価表

機 械 名	損料	規 格	適用単価表	単位	指 定 事 項
バックホウ	損料	排出ガス対策型(第2次基準値) クロー型・山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－1	h	
振動ローラ	賃料	ハンドガイド式 0.5～0.6 t	機－3 1	日	運転労務数量 1.00 燃料消費量 2.2 機械賃料数量 1.71
ブルドーザ	賃料	排出ガス対策型普通 3 t 級	機－2 8	#	運転労務数量 1.00 燃料消費量 24 機械賃料数量 1.63

管水路工埋戻し区分



埋戻し層	仕様
管水底埋戻し (管底面0.05m以上)	①W1.0m(50cm以上) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)
管水底埋戻し (管底面0.05m以下)	①W1.0m(50cm以下) + 振動ローラ ②1.0m50cm(振動ローラ) ③0.5m50cm(ブルドーザ)

備考 W1は最小埋戻しであり、実際の掘削ごとに数量を区分し適用することを標準とする。